

原水爆禁止 2014 年世界大会への知事メッセージ

日ごろから核兵器のない世界の実現のため、運動を展開されている関係者の皆様に心から敬意を表します。

広島、長崎へ原爆が投下され69年を迎えました。

投下された原爆は、無差別に多くの住民の命を奪い、また、生き残った人々も苦しみ続けなければならず、その後の人生をも変えてしまいました。

日本が戦争の廃墟から立ち上がり、多くの苦しみや悲しみを乗り越え、復興を遂げた歴史は、平和を訴えてきた歴史でもあります。

核兵器の存在しない、戦争や紛争のない平和な世界を実現することは、日本のみならず人類共通の願いです。

しかしながら、今なお地球上には大量の核兵器が存在し、新たな核兵器の拡散や使用の可能性は高まっています。

また、依然としてテロ行為や地域紛争が頻発し、平和を脅かす事件やニュースは後を絶ちません。

核兵器のない平和な未来の実現のためには、核廃絶を願う人々と連携し、唯一の被爆国である日本が、日本の体験を、被爆者やその家族の思いを、世界に向け発信し続けなければなりません。

終わりに、これまでの皆様の御奮闘に対しまして御慰労を申し上げますとともに、今後とも、平和な世界の実現を目指し、皆様とともに努力することを誓いまして、メッセージといたします。

平成26年6月

秋田県知事 佐竹 敬久